

本号のテーマは「クローン病小腸狭窄病変に対する内視鏡的バルーン拡張術」である。本邦で小腸内視鏡を専門とし内視鏡的拡張術の経験が豊富な先生方に、拡張術の適応や有効性のみならず、手技のコツ、トラブル・シューティングなどを実際の症例とともに解説いただいた。さらに、ドイツの Neuhaus 先生の研究グループからは、スパイラル内視鏡下の小腸疾患治療に関するご寄稿をいただいた。読者には、内視鏡的バルーン拡張術の歴史、適応、手技と今後の展望について理解を深めていただけたものと確信している。また、操作性の改良が加えられたスコープと治療効率向上のための周辺機器を熟知いただくことで、内視鏡的バルーン拡張の効果を最大限に引き出していただけることを期待している。

ダブルバルーン内視鏡の開発を主導した山本博徳先生は、開発初期から小腸病変の診断のみならず内視鏡的バルーン拡張術を積極的に取り入れた。このことが本法の普及に大きく貢献したといえる。次いで、本邦多施設の遡及的検討や前向き研究を経て、クローン病における内視鏡的バルーン拡張術の位置付けが確立された。しかし、狭窄多発例、癒着を伴う例、再狭窄例、潰瘍・瘻孔合併例など治療に難渋する症例が存在するのも事実であり次なる課題と思われる。スパイラル内視鏡による経口的アプローチ、ステント留置、あるいは内視鏡的狭窄部切除などがこれらの問題に光明を与えてくれるかもしれない。さらに、新規薬剤を含む内科的治療とのコラボレーションも検証する必要がある。クローン病に対する次代の内視鏡的アプローチに向けて本号を熟読いただければ幸いである。

松本 圭之(岩手医科大学消化器内科消化管分野)

INTESTINE

Vol.24 No.3

©2020 年 8 月 20 日発行

定価(本体 3,200 円 + 税)

●年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

・ Published by Nihon Medical Center, Inc.

© 2020, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ **JCOPY** 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

編集 『INTESTINE』編集委員会

発行人 増永 和也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64(協和ビル)

営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377

e-mail intestine@nmckk.co.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

広告申込所/株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541